

26-23

2026年3月26日

2026年3月28日(土) 最後の設置駅が稼働開始 東京メトロの全180駅においてホームドア整備が完了します！

東京地下鉄株式会社(本社:東京都台東区、代表取締役社長:小坂 彰洋、以下「東京メトロ」)では、ホームから線路内への転落事故や列車との接触を防止し、お客様により安心してご利用いただくことを目的にホームドアの設置を進めてまいりましたが、2026年3月28日(土)に予定している東西線原木中山駅での供用開始をもって、東京メトロ全路線全駅(9路線 180駅)*での整備が完了いたしますので、お知らせいたします。

東京メトロでは南北線開業時(駒込～赤羽岩淵駅間)の1991年11月、日本の地下鉄として初めてホームドアを導入しました。その後、2017年6月、全路線へのホームドア設置計画を発表し、転落事故の件数は整備率の増加とともに減少しております。

東京メトロは、これからも安全・安定運行かつ、高品質な輸送サービスの提供に努めてまいります。

※ 大規模改良工事中の東西線南砂町駅の一部番線については工事進捗を踏まえて整備予定

【東京メトロのホームドア】



フルハイトタイプ(南北線)



ハーフハイトタイプ(銀座線)

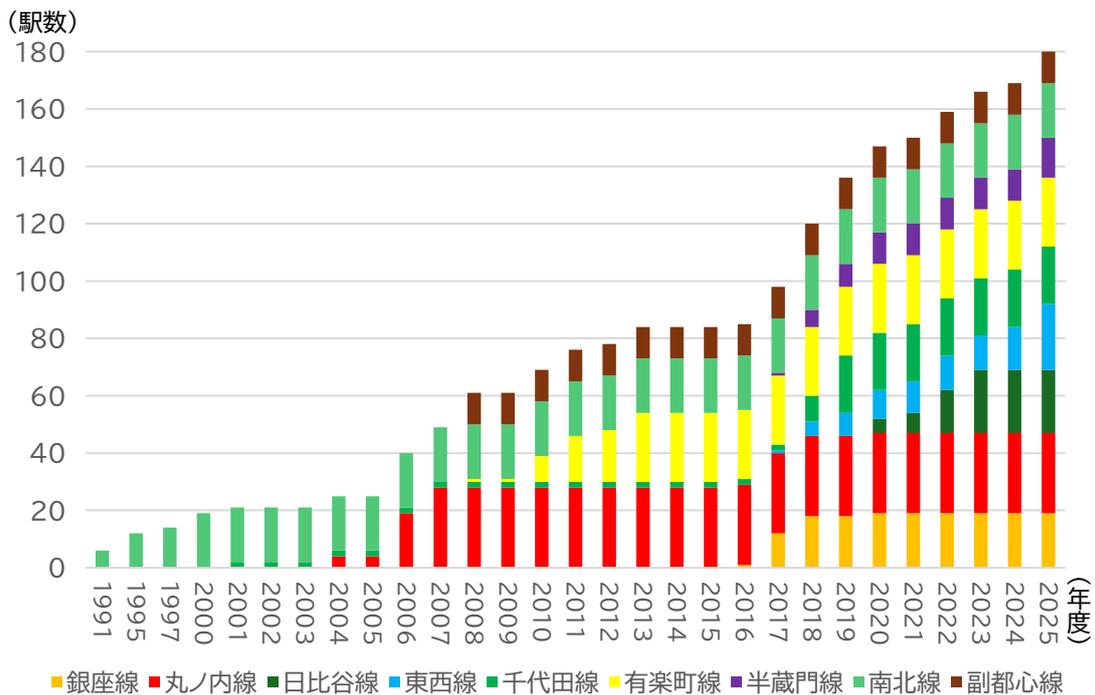


ハーフハイト大開口タイプ(東西線)

【東京メトロにおけるホームドア整備】

路線	駅数	整備年度
銀座線	19駅	2016年度～2020年度
丸ノ内線	28駅	2004年度～2007年度
日比谷線	22駅	2020年度～2023年度
東西線	23駅	2017年度～2025年度
千代田線	20駅	2001年度～2019年度
有楽町線	24駅	2008年度～2013年度
半蔵門線	14駅	2017年度～2025年度
南北線	19駅	1991年度～2000年度(順次開業時より整備)
副都心線	11駅	2008年度(開業時より整備)

【路線別のホームドア設置駅数の推移】



【ホームドアの設置まで】

●ホーム補強工事

ホームドアの重量に耐えられるようにするため、線路側に張り出したホームの床などを補強いたしました。



ホーム補強



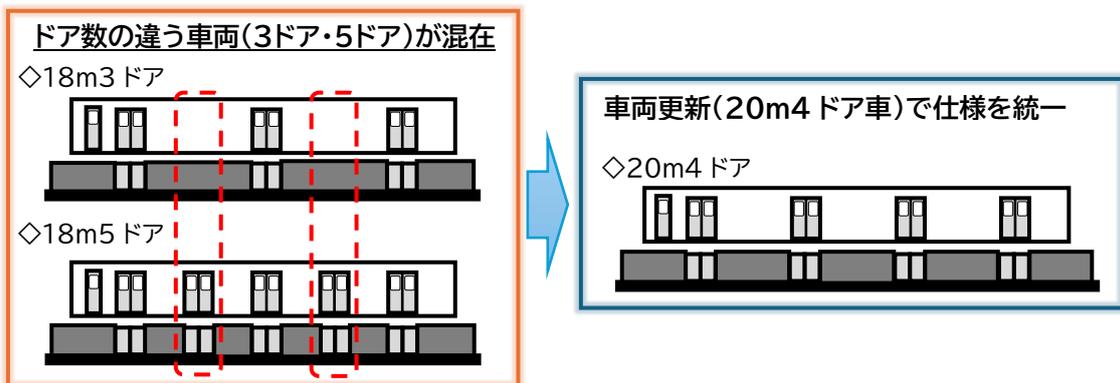
ホーム補強



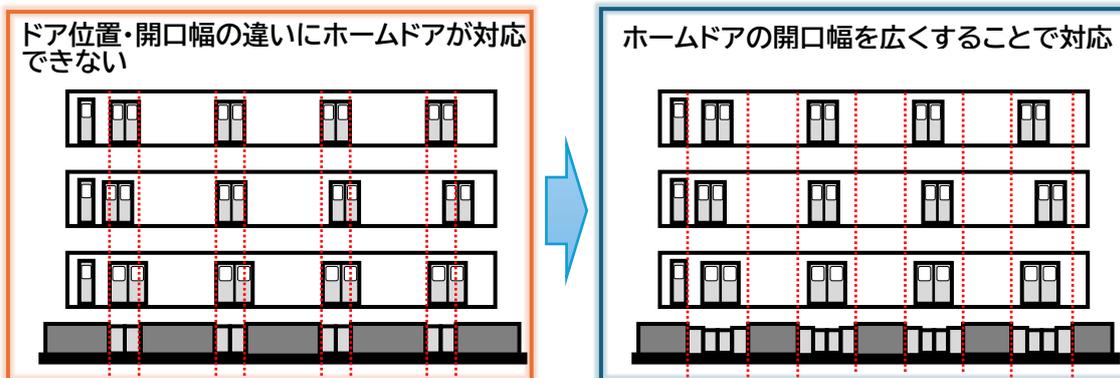
ホーム補強完了

●車両・ホームドアの対応例

日比谷線では、ホームドア導入前は1車両18mの8両編成で一部3ドアと5ドアの車両が混在していましたが、東武鉄道株式会社と連携し新型車両を導入することで、1車両20mの7両編成4ドア車両に統一いたしました。



東西線では、車両ドアの位置や開口幅が異なる車両が運行しており、従来のホームドアでは対応が困難であったため、すべての車両に対応可能な大開口タイプのホームドアを導入いたしました。



●ホームドア搬入～設置までの様子(東西線 原木中山駅)



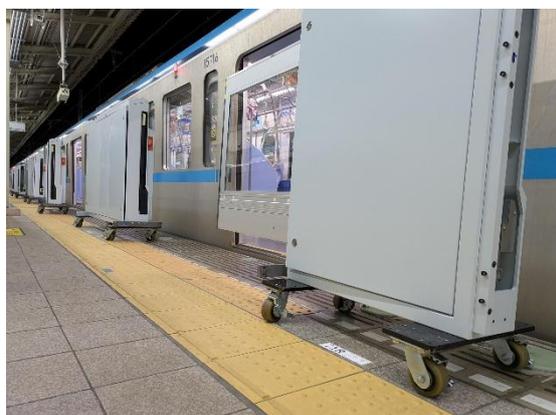
車両基地での搬入作業



設置駅までの運搬列車内



ホーム上での設置位置作業



ホーム上での設置調整

この件に関するお問合せ

東京メトロお客様センター <https://www.tokyometro.jp/support/index.html>

以上